

第1回 松戸市庁舎整備検討委員会 議事録

1 開催日時

令和4年5月23日(月) 14時15分から16時15分まで

2 開催場所

松戸市役所 議会棟 3階 特別委員会室

3 出席者等

【出席委員：13名】

柳澤 要 委員長
伊藤 正次 副委員長
池澤 龍三 委員
指田 朝久 委員
武石 恵美子 委員
藤本 利昭 委員
石田 尚美 委員
入江 和彦 委員
高橋 俊夫 委員
椎橋 孝幸 委員
山口 桂明 委員
関 聡 委員(総務部長)
大塚 滋 委員(財務部長)

【事務局(関係職員)】

総務部 審議監
オフィス・サービス創造課 課長
他7名

【傍聴者：20名】

※うち市議会議員6名、報道関係9名

【欠席委員：1名】

藤村龍至 委員

4 次第

- (1) 開会
- (2) 定数報告及び議題等について
- (3) 「松戸市庁舎整備検討委員会条例」等について
- (4) 公開・非公開、撮影の許可の確認
- (5) 議題1：「諮問書」について
- (6) 議題2：これまでの検討経過について
- (7) 閉会

5 議事

(1) 開会

(2) 定数報告及び議題等について

- 委員 14 名のうち 13 名出席。
委員の過半数が出席しており、本委員会が成立することを確認。

(3) 「松戸市庁舎整備検討委員会条例」等について

- 松戸市庁舎整備検討委員会条例につき説明。委員から質問・意見等なし。
- 松戸市庁舎整備検討委員会の組織及び運営に関する要領（案）につき説明。原案のとおり承認された。また、ホームページに掲載する議事録は委員の発言を箇条書き程度に作成することとし、議事録への署名者は入江委員、椎橋委員の 2 名となった。
- 松戸市庁舎整備検討委員会傍聴要領（案）につき説明。原案のとおり承認された。

(4) 公開・非公開、撮影の許可の確認

- 本日の委員会は公開となった。
- 傍聴及び委員会冒頭の撮影が許可された。

(5) 議題 1：「諮問書」について

- 諮問事項について、事務局より説明。委員から質問・意見等なし。
 - 「今後の行政サービスのあり方と職員の働き方の方向性に係る検討」
 - 「行政サービスを支えるハードとしての市役所機能の方向性に係る検討」
 - 「これらの検討を踏まえた松戸市新庁舎必要面積算定業務の時点修正」
- 令和 4 年 9 月上旬を目途に中間答申（概要骨子）、令和 5 年 3 月上旬を目途に最終答申を希望。

(6) 議題 2：これまでの検討経過について

- 市役所整備の検討経過について、事務局より説明。

【委員会の進め方に関する質問】

（委員）移転建て替えが前提となって、この委員会が議論するということではなく、立地場所も含めて、現地建て替えか新拠点ゾーンかということを議論するという認識でよいか。

（事務局）基本的には、場所に関係なく、市庁舎として必要な機能・あり方を検討し面積の再算定をするのがタスクと考えている。他方、立地を考慮しないと議論が熟さないことも認識しており、委員長・副委員長と協議の上検討を進めたい。

（委員）立地に関しては特に審議するというのではなく、市役所の機能について議論をする。

ただし、場所が定まらなると議論しにくい所もあることから、過去（コロナ禍前）の議論について、一回見直しが必要となってくる。あわせて、面積算定も見直しが必要となってくる。

（委員）基本構想（案）を踏まえて、委員会の新しい視点で検討をしていくのか。それとも基本構想（案）は参考資料としていくのか。

（事務局）基本構想（案）では議論が深まっていない。委員会では諮問内容について議論いただき、執行部が案を再策定する想定のため、参考資料として取り扱っていただきたい。基本構想（案）を参考にしつつ議論を深めたい。

（委員）検討対象が広範囲に亘る印象。委員会の各回でテーマを絞っていただきたい。

（事務局）2回目以降のテーマについては、詳細を調整中。

（事務局）職員ワーキンググループでの検討結果や、市民アンケート・職員アンケートの結果等も、今後提示する予定。あくまで、諮問の方向に従って、必要なことを踏まえて、進めていく。

【事務局説明内容に関する質問】

（委員）本庁舎の本館、新館は耐震改修工事を実施済みか。

（事務局）耐震補強工事は未実施。東日本大震災後、Is値が著しく低い施設には、躯体の座屈を防ぐため包帯工法（柱補強工事）を実施した。

耐震診断結果から相当な時間がかかっているため、BCPの観点からすると安心・安全な施設ではないと認識した。

（委員）基本構想（案）では、議会棟・別館も含めて新拠点ゾーンに移転する想定か。

（事務局）ご認識の通り。

（委員）新庁舎では現庁舎よりも広い面積が必要という理解でよいか。

（事務局）事務局では、過去の委託業務で算定した数値は最大値であると理解している。デジタル化や本庁と支所の業務の見直しなども含め、本委員会で検討していただきたいと考えている。

コストもあるので、効果や効率を落とさないながらも、ある程度、面積を削減していく必要がある。見直しは当然必要だと思う。

【事務局説明内容への意見】

（委員）窓口サービスのあり方と、市の職員の働き方（オフィスとしての場所の作り方）を同時並行で議論するのは難しい。すべての機能が1か所にまとまる必要があるか、立地も含めて再考が必要ではないか。また、防災の観点からすると、災害発生時に市民の方が庁舎の中に避難してくる。その時に本庁舎が災害対応拠点として機能するのか、市民の避難場所を別に設けるのか、全ての機能が一緒にならないような議論が必要。

（委員）耐震の観点からすると、全面建て替えが理想。BCPの観点からすると、バックアップ

のため拠点は複数あるのが理想。現庁舎の場所・新拠点ゾーンに加え、地理的に離れた場所のバックアップを用意するべく、本庁舎と支所のネットワークのあり方を検討することも必要。

- (委員) 災害時、市民が市役所に押し寄せセキュリティが崩壊し、市によるサービス提供が困難となることがある。避難先と市役所の指揮命令系統を分けて考える必要がある。
- (委員) 耐震の観点からすると、現庁舎は耐震性が全くない本館、新館で人命確保が可能な基準値を満たしていないだけでなく、全ての建物で災害時における機能の確保が保証されておらず、費用の合意が得られるのであれば全部建て直すのが最善。
- (委員) 現在の庁舎は分散化で使い勝手が悪く、動線がわかりにくいと聞くことが多い。関連性のある機能等の集約という視点や部署の配置について工夫が必要と考える。

(7) 閉会

- 次回委員会の日程及び内容は、別途委員長・副委員長と協議の上、各委員へ連絡する。実施方法を対面・オンラインとするかも含めて調整したい。

以上